

④ ちかもり 二〇二四

(口上)

土佐の療所は未来を語る 民を癒せと打つ鳴子
夢と希望で繋ぐ縁を 明日吹く風はちかもりや

(歌)

鼓動震わせ あまねく流れ 留まりざれ
流転の理 思うがままに飛び越えて

(歌)

土佐の高知の はりまや橋で 坊さん かんざし買うを見た
よさこい よさこい

(口上)

打てや鳴らせや見上げれば よいやさ なのな
よいやさのなのなの 夏の続きは汝の後に

(歌)

夢 人の世に 生まれ消えゆく 運命と知りながら
無我夢中 手を伸ばし つなぎとめる光
未来を削り出す誓いを胸に

(歌)

高知の城下へ 来てみいや じんばも ばんばも よう踊る
鳴子両手に よう踊る よう踊る よう踊る

(歌)

よいやなのなのなの よいやなのなの
よっちよれよ
よっちよれよ
よっちよれよ
よっちよれよ
よっちよれよ
よっちよれよ
よっちよれよ
よっちよれよ
よっちよれよ
よっちよれよ
よっちよれよ
よっちよれよ
よっちよれよ
よっちよれよ

ちかもり

